

2022 AUTOBACS SUPER GT Round 5 FUJIMAKI GROUP SUZUKA GT 450km RACE

2022年8月28日(日)

決勝 レポート

77 Laps



場所: 鈴鹿サーキット (三重県) 1周 5,807m 観客動員数: 16,500人

天候: 晴れ | コース: ドライ | 気温/路温 開始: 30°C/40°C、終盤: 30°C/38°C

後方からの追い上げ戦略で挑む

2022年 SUPER GT 第5戦の決勝が鈴鹿サーキット(三重県)で行われた。予報通り気温は上昇し路面温度も高く、マシン・タイヤ・ドライバー全てに厳しいレースが予想された。

8月28日(日)

<決勝 77LAPS / 14:30~>

今回の450kmレースは2回のピットイン義務があり、このピットインをうまく利用する戦略で挑んだ。今回は井口卓人がスタートを担当する。22番手スタートでペースが上げられず、23周目にピットインしタイヤスペックを変えて山内英輝に交代した。レース中盤、ライバル勢が2回目のピットインでタイヤ交換を始める中、2回目のピットインではタイヤ無交換作戦をとるべく周回を重ねた。40周



www.rdsport.net

を経過し山内はペースを上げるが、45周目に大きなクラッシュがありセーフティカー(SC)が運用されたことにより、稼いだマージンが無くなり、2回目のピットを終えた車両に先行される。SC明けの51周目にピットインし給油のみを行い山内をコースへ戻す。山内は最後まで果敢に攻め18位でフィニッシュした。なお GT500クラスの優勝は#12 カルソニックIMPUL Zが、GT300クラスは#4 グッドスマイル初音ミク AMG が制した。



■澤田監督 コメント



後方からのスタートでいかにロスすることなく走れるかを戦略で考えて実行しました。40周過ぎには上位との差をピットで短縮できそうな流れになっていただけに、展開としては悔しいです。しかし順位以上に成果につながる事をトライできましたので、次戦以降に活かします。

■井口 卓人 コメント



予選はQ1を担当しましたが、練習走行から大幅にタイムを上げる事ができず、Q1を敗退してしまい後方からのスタートになってしまいました。決勝はスタートから順位を上げるどころか苦しいレース展開となっていました。SCのタイミングも悪く、順位としては良くなかったですが苦しみながらも決勝レースをしっかりと走り切れたことで、セッティングやタイヤ選択など色々見えてきた事もありました。本当に苦しいレースウィークとなってしまいましたが、この結果を基に次の菅生戦では気持ち良く走って表彰台に乗れるように頑張りたいと思います。

■山内 英輝 コメント



今回はサクセスウエイトで重たいこともあり、非常に苦戦したレースウィークとなりました。レースウィーク中にバランスを合わせ込むことが出来ず、決勝ではSCのタイミングも悪く、結果、ポイントを持ち帰ることが出来ませんでした。なかなか苦戦した鈴鹿ではありますが、走るごとにマシンは良くなっていたので、よりマシンも見直して次戦以降に速さを取り戻せるように頑張っていきたいと思います。

決勝の詳細に関しては SUPER GTホームページ <https://supergt.net/>、
またSUBARUモータースポーツマガジン <https://www.subaru-msm.com/2022/sgt/report/>もご覧ください

2022年8月28日
アールアンドデースポーツ
<http://www.rdsport.net/>



www.rdsport.net